



神明われら 誇りは高し

平成28年9月1日

学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

校長 杉山 善之

「難しいことは簡単に、簡単なことは深く、深いことは面白く」

校長 杉山善之

今年の夏休みも、たくさんいろいろなことがありました。パワーアップ教室、部活動・大会、中学生レスキュー、NHK合唱、吹奏楽コンクール、2年生は上級学校訪問、3年生は夏季講習、今年から始まったチューターの先生といっしょに学ぶ勉強会、中学生サミットが衣替えした「すぎなみ小・中学生サミット」など。42日間の夏休みでしたが、それぞれの人が、何かの行事に取り組んだものと思います。

もちろん、それぞれの取り組みの中で、銘々が思ったこと、感じたことには違いがあると思います。私も、可能な限り、いろいろな取り組みに顔を出させていただきましたが、皆さんが一生懸命に取り組む姿に、爽やかさを感じました。今年の海外派遣には3年生の市川もねさんが参加しました。報告会が楽しみです。また、硬式テニス全国大会では、3年齊藤唯さんが3回戦まで勝ち進み、全国ベスト16になりました。とても素晴らしいことです。これまでの努力が実った快挙であると思います。

この夏、改めて思ったこと、一つの目標を達成するには、たくさんの努力の過程が必要です。右から左へ、そう簡単にはいくほど、物事は単純ではありません。たくさんの努力の過程では、とても辛いことやきついことがあります。それを乗り越えるためには、辛いこと、きついことを、おもしろがってやるのが一番です。「すぎなみ小・中学生サミット」でも、「明るい学校づくりをするためにはどうしたらよいか」と討論テーマをかみ砕き、生徒会役員の生徒が、小学生をよくリードし、みんなが自分たちの意見をきっちり発表することができました。チューターの先生との勉強会もやり方は手探りでしたが、チューターの先生と和気あいあい、とても楽しそうに勉強しているのが印象的でした。2学期も実施します。たくさんの人の参加を待っています。

「難しいことをどうやったらできるようになるだろう」と考え、簡単なことに分けてみる。球技で「チームが勝つために」という難しいことを、攻め方や守り方に分けてみる。攻め方もシュートやショットの仕方に分ける。そのやり方もいろいろあるから、それぞれのやり方に分けて練習する。それら簡単なことは、みんなつながっています。当たり前です。難しいことを分けているだけです。それを一つ一つ面白がってやってみる。楽しくやる。やりながら、それぞれをつなげてみる。不思議とつながり、難しいことを面白くできるようになるのです。

「難しいことは簡単に、簡単なことは深く、深いことは面白く」です。勉強だって同じ、ゼロからのスタートの時、人間は必ずそうやります。やりながら、振り返り、できるまで練習するのです。難しい目標達成に向けて、面白くやりましょう！楽しくやりましょう！！